

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名 グループホーム めばえ

日付 平成 19年6月30日

特定非営利活動法人

評価機関名 ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験15年

評価調査員 介護支援専門員経験5年

[自主評価結果を見る](#)

[評価項目の内容を見る](#)

[事業者のコメントを見る\(改善状況のコメントがあります!\)](#)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

永らくこの地で、保育園経営に携っていた代表者が、高齢者デイサービス事業を始め、平成18年7月にグループホームを設立した。1つのユニットが1年経過、2つ目のユニットが立ち上がって3ヶ月というまだ若いグループホームである。

岡山県ではユニバーサルデザインという方針で、子供と高齢者を統合したサービス事業をしていこうと気運がある中で、子供と高齢者が一緒に過ごせる環境をつくれる背景は楽しみのあるグループホームの誕生であろう。期待しておきたい。

このグループホームの利用者と接してみて感じた事は、利用者一人ひとりの能力や経験を活かして生活の場をしっかりと築いていることである。自分が働きに来ているという意欲で、炊事に一生懸命になっている人や野菜や花づくりに励んでいる人、そして、その出来栄を楽しんでいることを見せてもらった。又、人それぞれの程度は異なるが、絵を描いたり、塗り絵をしたりするにしても、その人の得意なところをしっかりともらい、その結果を評価して、やり甲斐を自分自身で認めてもらうような方向に導いていることだろう。

リビングルームには、懐かしい歌謡曲をBGMで流している。話しをするより、歌を唄う方が得意な人に、このようなメロディに接しながら過してもらい、好きな歌を忘れないよう、いつまでも口ずさめるような環境をつくってあげている。

人それぞれに過去の経験や得意なことがある。その人の固有な人間性もある。認知症になっても、このような人間特有の良いところをどのように蘇らせてあげられるかが、グループホームの利用者にとって大変重要なことであり、グループホームならではの良い所である。まだ全体的には緒についたところではあるが、一人ひとりの良い所、得意な技を引き出してあげようとする姿勢は評価すべきことであろう。

職員もグループホームの経験者も少なく、今の働雇用条件からすると困難なことがたくさんあるが、介護専門職にとらわれず高齢者を愛することのできる人を原動力として、「めばえ」の特色が出来る人容を整え、この地域の中で先導力となれる地域密着型のサービス事業者として成長してもらいたい。

特に改善の余地があると思われる点

職員と利用者は共同生活者である。お互いに遠慮の気持を持たさず、家族関係の間柄をつくり、家族も加えたパートナーとしてホームの生活を楽しくしてもらいたい。

広い敷地の中にゆったりした建物の中で生活している。この敷地をもっと有効に使い、地域の人々とも楽しみが共有できる行事を開催して、地域や家族と一緒に過ごせる関係づくりができれば良いかなと思う。アウトドアの道具も充実していければ更に良い。

自主評価はしっかりと取り組んでいるので、自主評価と外部評価がホームの業務改善に結びついていようお互いに協力していきたい。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|--|-------|-----|
| 1 | 理念の具体化、実現及び共有 | | |
| 記述項目 | グループホームとしてめざしているものは何か | | |
| 記述回答 | <p>1. 自主評価について…: 理念として五徳(五つの素直なこころ)を掲げて利用者や家族、地域の人に理解してもらう事にこれから努力していこうとしている。その為には先ず職員が理解し、それをどのように具体的に日々の仕事の中に活かしていけるか真価が問われる。頑張ってもらいたい。</p> <p>2. 全体的に見て…: 理念はサービス提供の発展のためには大変重要であり、特に心の課題を取り上げていることの重要性、効率性は大きい、職員がしっかりと自分の仕事に結び付けていくには、常に触れる機会を適用して、この理念の志が現実のものに感じるような行動を考えていかねばならない。五徳のこころはケアサービスの基本であり、利用者と職員の心の交流の源でもある。この心と利用者のケアにより、このホームの発展を期待し、応援している。</p> | | |

II 生活空間づくり

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|--|-------|-----|
| 2 | 家庭的な共用空間作り | | |
| 3 | 入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり | | |
| 4 | 建物の外回りや空間の活用 | | |
| 5 | 場所間違い等の防止策 | | |
| 記述項目 | 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か | | |
| 記述回答 | <p>1. 自主評価について…: 実際に生活してみると、設計時に配慮したつもりのもので不具合なところは多く見つかるだろう。手摺の改善はこれから細かく改良していくものの象徴であり、多くのことに気付いて改善が進んでいくことに期待したい。</p> <p>2. 全体的に見て…: 広々とした敷地に建設されたホームで、ゆとりのある生活ができる。2つのユニットの中庭や裏の畑はトマトやキュウリ、ナス、ネギ等の野菜が収穫できる。菜園の作業や庭で過ごせる時間は2つのユニットの交流の場としても絶好の場所であろう。両ユニットの利用者の交流や近所の人や家族も一緒になって楽しい時間が過ごせるような企画や一寸したアウトドア内の設備をして、皆が寄り添って生活しあふれるホームになるだろう。</p> | | |

III ケアサービス

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|----|---------------------------|-------|-----|
| 6 | 介護計画への入居者・家族の意見の反映 | | |
| 7 | 個別の記録 | | |
| 8 | 確実な申し送り・情報伝達 | | |
| 9 | チームケアのための会議 | | |
| 10 | 入居者一人ひとりの尊重 | | |
| 11 | 職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ | | |
| 12 | 入居者のペースの尊重 | | |
| 13 | 入居者の自己決定や希望の表出への支援 | | |
| 14 | 一人ですることへの配慮 | | |
| 15 | 入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫 | | |
| 16 | 食事を楽しむことのできる支援 | | |
| 17 | 排泄パターンに応じた個別の排泄支援 | | |

III ケアサービス(つづき)

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|---|-------|-----|
| 18 | 排泄時の不安や羞恥心等への配慮 | | |
| 19 | 入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援 | | |
| 20 | プライドを大切にした整容の支援 | | |
| 21 | 安眠の支援 | | |
| 22 | 金銭管理と買い物の支援 | | |
| 23 | 認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保 | | |
| 24 | 身体機能の維持 | | |
| 25 | トラブルへの対応 | | |
| 26 | 口腔内の清潔保持 | | |
| 27 | 身体状態の変化や異常の早期発見・対応 | | |
| 28 | 服薬の支援 | | |
| 29 | ホームに閉じこもらない生活の支援 | | |
| 30 | 家族の訪問支援 | | |
| 記述項目 | 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か | | |
| 記述回答 | <p>1. 自主評価について…: 介護計画の立案、見直し、運用に関する要改善を自覚しており、この改善はケアマネジメントの基本をなすものである。職員同士でしっかりと話し合って小手先の改善に止まらず、中期的に見た具体的な改善を続けて一つずつ積み上げていってもらいたい。認知症専門医療機関との連携も重要である。</p> <p>2. 全体的に見て…: グループホームの経験者も少ないこともあって、ケアマネジメントやサービス提供の構築は今からである。高齢者を大切にしたいという職員の気持はみなぎっている。又、リビングルームで皆で過ごそうと誘い合う利用者同士の助け合いの心が芽生えている。開設して1年、他のユニットは3ヶ月という短い間であるが、これから時を経るにつれ、その効果が見えてくると思う。寝たきりにならないよう日々の訓練を重ね、万が一寝たきりになっても皆で一緒にリビングルームで食事ができるようなホームを目指して職員と利用者が協力して頑張りたい。</p> | | |

IV 運営体制

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|---|-------|-----|
| 31 | 責任者の協働と職員の意見の反映 | | |
| 32 | 災害対策 | | |
| 33 | 家族の意見や要望を引き出す働きかけ | | |
| 34 | 家族への日常の様子に関する情報提供 | | |
| 35 | 運営推進会議を活かした取組 | | |
| 36 | 地域との連携と交流促進 | | |
| 37 | ホーム機能の地域への還元 | | |
| 記述項目 | サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 | | |
| 記述回答 | <p>1. 自主評価について…: 職員の確保・育成や家族及び地域との交流は課題として挙げている。よくしたいという気持ちが伝わってくる。しかし、今は先ずホームの中をしっかりと固めてから外に向かっていけば良いと思う。管理者・職員で話し合っで欲しい。</p> <p>2. 全体的に見て…: 高齢者のデイサービスを4年前に立ち上げ、高齢者の重度化が進む中、その受け皿の必要性を感じ施設を作る相談を役所と進めていたが、この地域にグループホームがないことから、このホームが誕生した。この地域の期待も大きい。大手介護事業者のあり方が社会問題になっている中で、地域の事業者がしっかりと介護の精神を持って定着していくことが望ましい。きっとこのグループホームは地域と共に立派に歩んで、幼児から老人まで地域の中で安心して暮らせる母体となってくれるであろう。</p> | | |